



【ムンバイメトロ1号線】

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 8 月 15 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-3826  
ki-somu@city.yokohama.jp

## インドにおけるプロジェクト 推進に向けた意見交換を実施

横浜市は、成長著しいインド及び東南アジア地域の活力を取り込み、市内経済の一層の活性化につなげていくため、インド及び東南アジア地域の企業の横浜誘致や市内企業のビジネス展開支援、更には、姉妹都市であるムンバイ市をはじめとした都市間交流等を目的として、インド・ムンバイ市に事務所を置いています。

ムンバイ事務所のコーディネートのもと、7月下旬に、国際局職員が訪印し、デリーの在インド日本国大使館、JETRO、JICAをはじめ、カルナタカ州及びベンガルール市政府関係者との面会やムンバイメトロ鉄道公社等を訪問し、インフラビジネスを中心とした今後のプロジェクト展開について意見交換を行いました。



(現地での意見交換)

## 第3回国連人間居住会議準備会 合で本市の取組をPR

7月25日から27日まで、インドネシアのスラバヤ市で、第三回国連人間居住会議※（ハビタット3）準備会合が開催され、世界百数十カ国から数千人の政府関係者及び国連関係者等が訪れました。

会場内のサイドイベントで本市職員がスピーカーとして出席し、横浜の都市づくりのノウハウの紹介と市民との共働、都市間連携の状況について発信しました。また、展示会場の日本政府ブース内で本市の技術協力に関する取組を紹介しました。



(プレゼンテーションの様子)

※国連人間居住会議は、途上国で急速に進展する都市化に伴う課題をはじめ、人間居住に関わる課題解決のために20年に一度開催される正式な国連会議です。

## 新たに国際交流員をお迎えしま した

JETプログラム※の一環として、8月3日、国際局に国際交流員（CIR: Coordinator for International Relations）を新たにお迎えしました。カナダ出身の、アレクサンドル・マルタンさん（写真中央右側）です。

英語、フランス語、そして日本語のスキルを生かして、横浜の国際交流を一緒に盛り上げてくれることを期待しています。



(国際局職員との面談)

※JETプログラム（The Japan Exchange and Teaching Programme）は、日本における外国語教育の充実を図るとともに、青年交流による地域レベルでの国際交流の発展を図ることを通じて、わが国と諸外国との相互理解を増進し、もって地域の国際化を推進する事業です。